

通信教育部 経営情報学部 先端経営学科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の編成及び特色

いま社会で注目を集めているeビジネスに着目し、インターネットを活用した新しいビジネスの構築、ネットワークの理解と創造、さらにネットワークによって可能になる海外進出のためのコミュニケーション能力の養成など、現代社会にマッチした企業経営を学ぶカリキュラムを編成します。学ぶ分野のガイドとするべく、モデルコースを設定しています。

2. 教育の内容

本学の授業は、「教養教育科目」「専門教育科目」「教職に関する科目」に大別されます。

「教養教育科目」は幅広い知識を教授し、社会の変化に対応できる資質と能力等を育成します。

「専門教育科目」は学問の専門性をたかめていくための学習を行います。また、学ぶ順序に配慮したレベル分けをしています。

3. 教育の方法

本学の授業は、次の4つの授業形態により実施します。

①印刷授業

- ・教科書・学習用プリント・LMS（学習マネジメントシステム）などで提供される学習内容や学習方法に基づき、自宅等で学習を進めます。
- ・予習・復習を含めて2単位で90時間の学習を標準とします。

②面接授業（スクーリング）

- ・担当教員と対面で授業を行います。2単位で3日間(15コマ)、4単位で6日間(30コマ)の集中授業を行います。
- ・予習・復習を含めて2単位で90時間の学習を標準とします。

③インターネットメディア授業

- ・eラーニング教材での学習を行います。
- ・教材の学習時間は、課題や小テストなどを含め2単位で30時間、4単位で60時間相当です。
- ・予習・復習を含めて2単位で90時間の学習を標準とします。

④IPメディア授業（正科生Bのみ履修可）

- ・スタジオから教育センターへ向けインターネットを介した、生放映の授業を行います。
- ・2単位で15コマ、4単位で30コマの授業を行います。
- ・予習・復習を含めて2単位で90時間の学習を標準とします。

4. 学修成果の評価

学修成果の評価は以下の方法で行います。

①印刷授業、インターネットメディア授業、IPメディア授業

- ・試験、課題などにより評価します。

②面接授業

- ・試験のほか、成果報告・研究発表や実技により評価します。